動画の再生／結合保存ソフトウェア

EOS MOVIE Utility for EOS-1D C

Ver.1.0

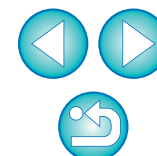
使用説明書

本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS MOVIE Utility for EOS-1D C を EMU と表記しています。
- Windows 7 を使用した画面を例に説明しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。（例：メニューの［ファイル］▶［終了］を選ぶ）
- ［ ］内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- 〈 〉内の語句は、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
  また、クリックすると参照ページが表示されます。
- ：注意事項です。
- ：補足説明です。

ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
  ：次ページ
  ：前ページ
  ：ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された見出しをクリックすると、見出しのページが表示されます。また、目次ページの読みたい項目をクリックすると、そのページが表示されます。

　CCS-M055EMUWJ-000

はじめに

EOS MOVIE Utility for EOS-1D C（以降 EMU と表記）は、CINEMA EOS カメラ EOS-1D C で撮影した動画の再生・結合保存を行うためのソフトウェアです。

● EMU でできること

EMU は、EOS-1D C で撮影した動画ファイルをスムーズに再生することができます。また、Canon Log ガンマで撮影した動画にビューアシストを設定して再生することもできます。その他、録画時に 4GB ごとに分割された動画ファイルの連続再生や結合保存、静止画（TIFF 非圧縮 8-bit RGB 形式）の取り出しなども可能です。

● Canon Log ガンマとは？

広いダイナミックレンジにより、暗部からハイライトまで豊かな階調表現を実現する機能です。CMOS センサーの高い実力を、余すことなく引き出します。

●クリップとは？

1 回の撮影操作で記録される動画のことをクリップといいます。

当ソフトウェアでは、EOS-1D C 以外のカメラで撮影した動画を再生することはできません。

動作環境

OS（オペレーティングシステム）	Windows 7 SP1（32bit/ 64bit）
機種	上記の日本語版 OS がプリインストールされているパソコン（アップグレード機は動作保証外）
CPU（シーピーユー）	Intel Xeon X5690(6core)3.47GHz x 2 基相当以上を推奨 Core i3/i5/i7、Xeon を動作対象とし、Pentium、Celeron、Core Solo、Core Duo、Core 2、Atom は動作対象外
グラフィックボード	4K 対応 PC ディスプレイに出力する場合は、NVIDIA 製 QUADRO　4000/5000/6000 が必要
RAM（メモリー）	4GB 以上
ディスプレイ	XGA (1024 x 768 ピクセル) 以上
ディスプレイのフォントサイズ設定	96dpi

- 当ソフトウェアで 4K 動画を扱うときには、CF カードと CF カードリーダーについて、以下の性能をもつ製品のご使用をおすすめします。
  - ・CF カード：UDMA7 対応、書き込み／読み取りの実効速度 100MB/ 秒以上
  - ・CF カードリーダー：USB3.0 接続で UDMA7 対応の読み取り実効速度 100MB/ 秒以上

  CF カードと CF カードリーダーの動作確認情報については弊社ホームページなどをご確認ください。
- 最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

目　次

ソフトウェアのインストール

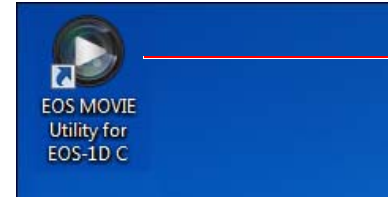
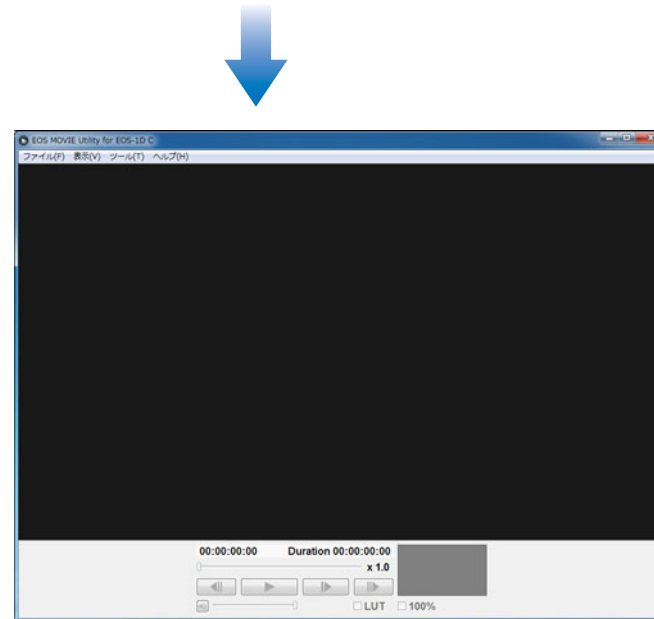
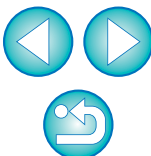
ソフトウェアのインストール時には、パソコンの管理者権限が必要です。

1 キヤノンのホームページからダウンロードした EMU の圧縮ファイル（.zip 形式）をダブルクリックして開く

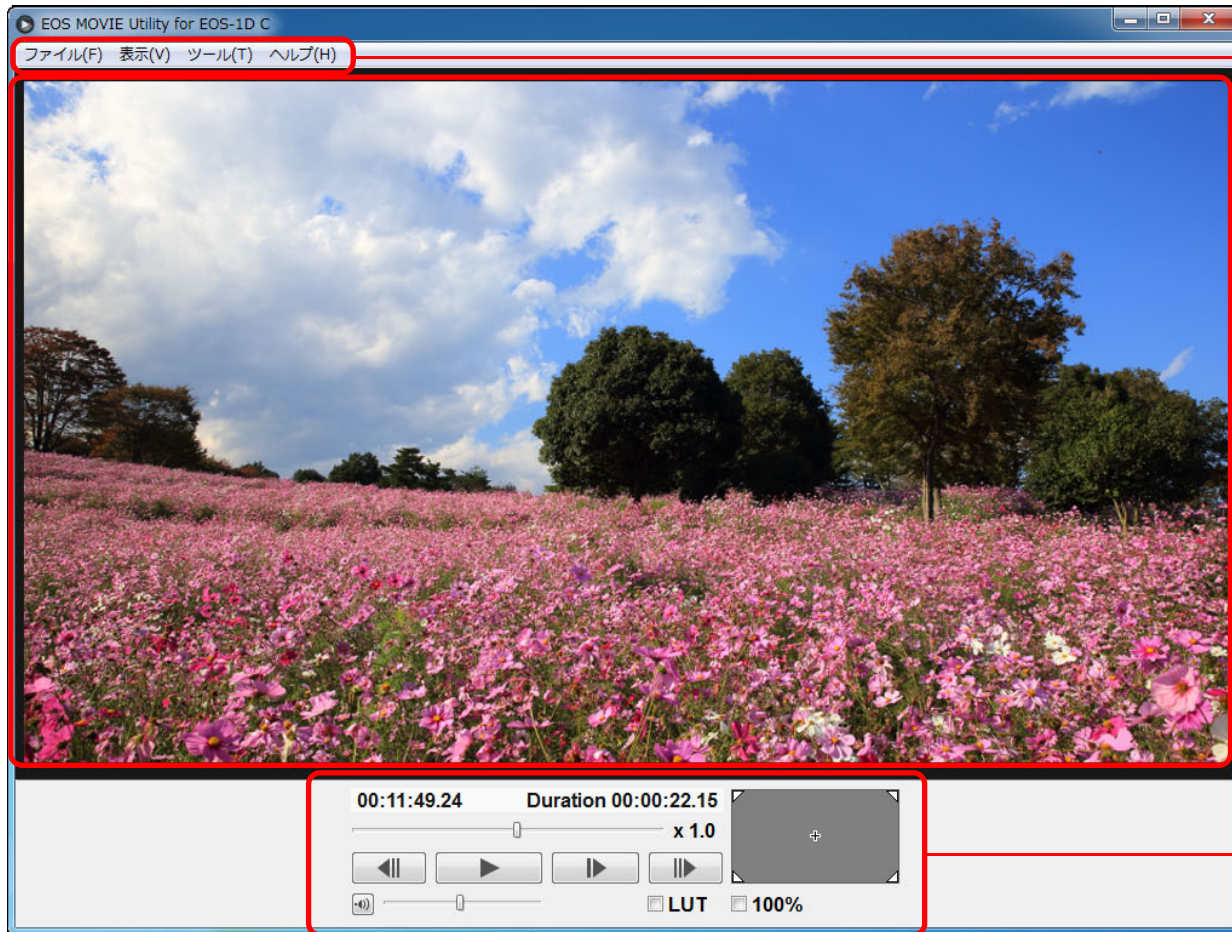
2 フォルダ内の “emuw100.exe” をダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールを行う

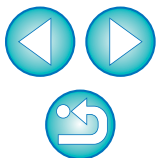
EMU を立ち上げる

デスクトップのショートカットをダブルクリックする

➜ 立ち上がるとメイン画面が表示されます。

- EMU を複数同時に起動することはできません。
- 画面のフォントサイズを 96dpi 以外に設定すると、ダイアログ上の文字やボタンが、正しく表示されません。

基本画面

メイン画面

クリップの表示や、再生・停止などの操作を行うことができます。

メニュー
各種機能を実行するメニューです。

プレビューエリア
再生するクリップが表示されます。

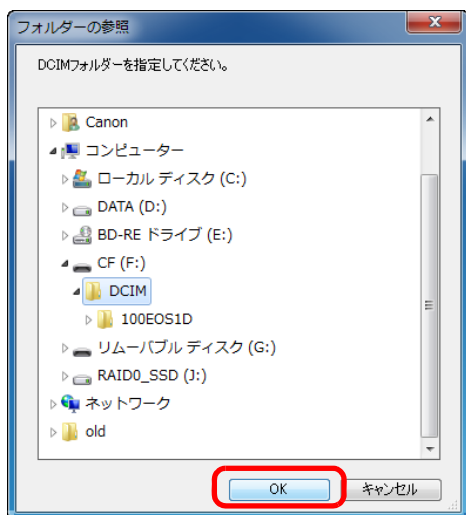
再生コントロールエリア
再生操作を行います。

クリップを再生する

クリップの再生方法を説明します。
メモリーカード内のクリップが保存されたフォルダは、あらかじめ、カードリーダーを使用してパソコンにコピーしておくことをおすすめします。

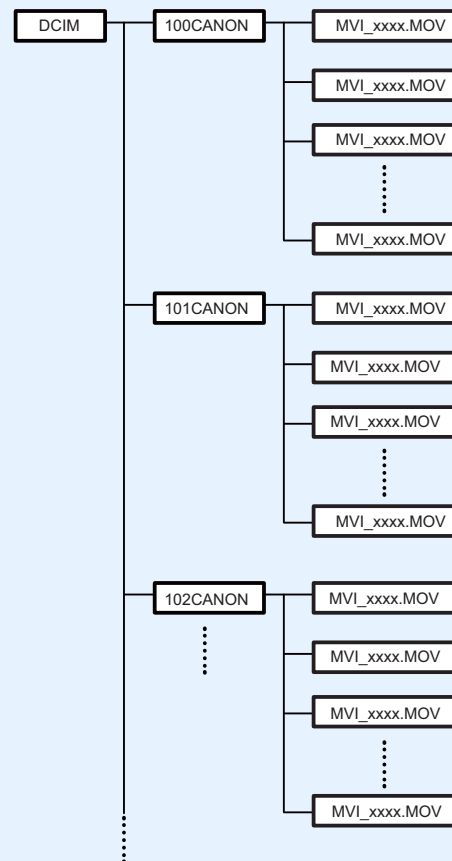
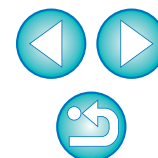
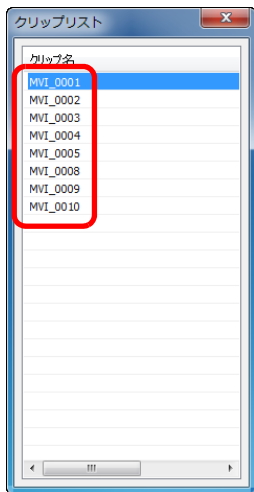
クリップの再生

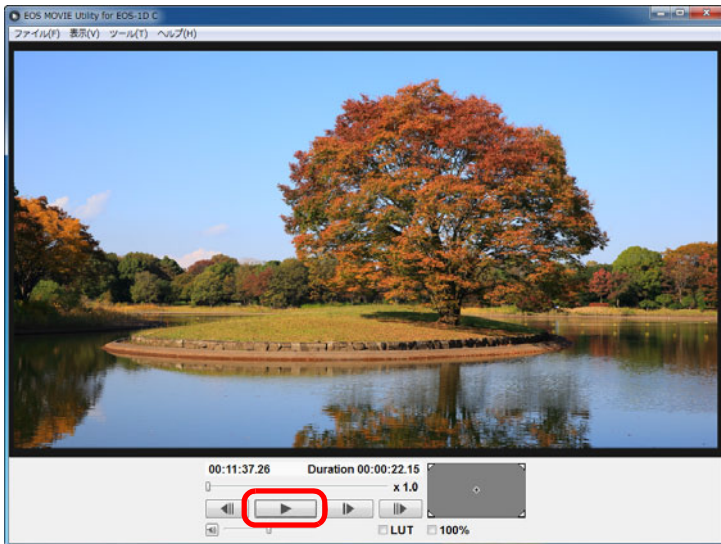
1 メイン画面でメニューの［ファイル］▶［クリップフォルダーの選択］を選ぶ

➜［フォルダーの参照］画面が表示されます。

2 再生するクリップが保存されたフォルダを選択した後、［OK］ボタンを押す

➜［クリップリスト］画面が表示されます。

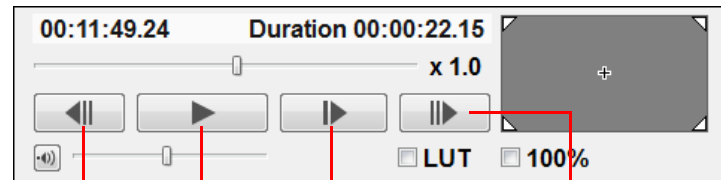
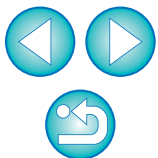
- メモリーカードをカードリーダーに挿入の上、パソコンに接続して、メモリーカード内のフォルダを直接選択することもできます。
- カメラ本体をパソコンに接続して、カメラのメモリーカード内のフォルダを直接選択することはできません。

カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。

当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、クリップが正しく再生ができない場合があります。クリップを再生する場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIM フォルダを選択してください。なお、このフォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が［DCIM］と異なる名称に変更されている場合も、正しく再生ができない場合がありますのでご注意ください。

3 ［クリップリスト］画面で再生するクリップを選ぶ

➜ クリップの画像がメイン画面に表示されます。

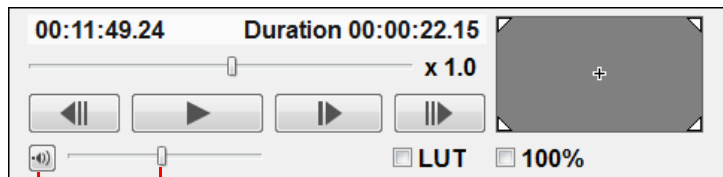
4 メイン画面で［ ▶ ］ボタンをクリックする

➜ クリップが再生されます。

- 再生時の操作については、当ページ、右の「再生時の操作」および、p.8～p.10「音量を調節する」～「動画の表示サイズを切り替える」を参照してください。

再生時の操作

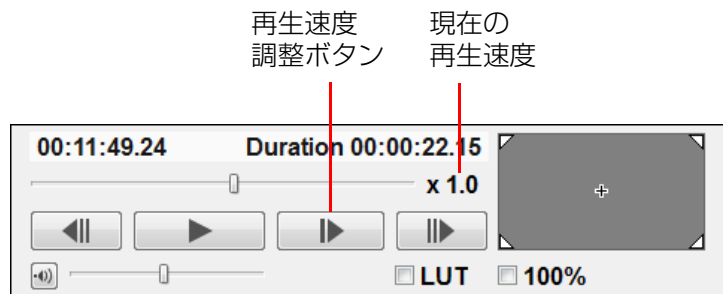
再生時は、各種ボタンで下記の操作ができます。

- ［クリップリスト］画面では、〈↑〉〈↓〉キー、またはマウスのクリックで選ぶクリップを切り替えることができます。
- ［クリップリスト］画面のクリップ名をダブルクリックしても、クリップを再生できます。
- ［クリップリスト］画面を閉じても、リストの内容は保持されます。［表示］メニューから［クリップリスト］を選ぶと、再度［クリップリスト］が表示されます。

音量を調節する

音量スライダーで、再生時の音量を調整できます。

音量スライダーを左右にドラッグする

- 音声を一時的に消したいときは、［ ］（ミュート）ボタンをクリックします。

再生速度を変更する

動画の再生速度を変更することができます。

動画を再生中に［ ］ボタンを押す

- ［ ］ボタンを押すたびに、下記のように再生速度が変更されます。

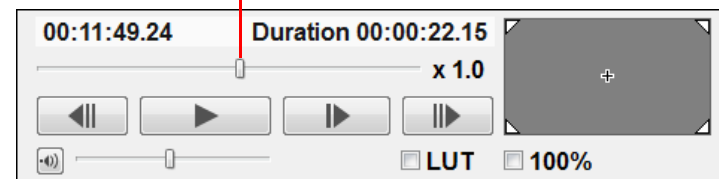
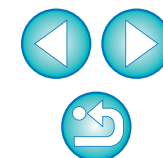
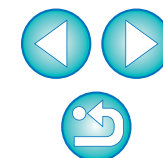
クリップのフレームレート	再生速度	再生速度変更後のフレームレート
59.94p	x1.0	59.94p
	x0.5	29.97p
	x0.4	23.98p
50p	x1.0	50p
	x0.5	25p
上記以外 *	x1.0	クリップのフレームレート

* 再生速度調整ボタンは操作できません。

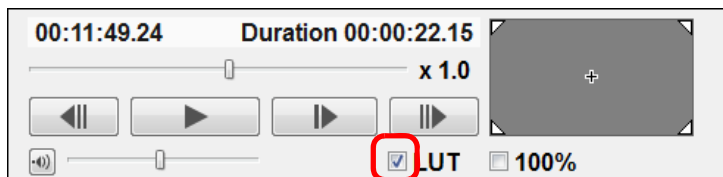
スロー再生中（再生速度が「x0.5」または「x0.4」のとき）は、音声は再生されません。

再生位置を移動する

フレーム位置スライダーで、再生位置を移動することができます。

再生中または停止中に、フレーム位置スライダーを左右にドラッグする

Canon Log ガンマを使って撮影した動画を再生する

Canon Log ガンマ（p.2）を使って撮影した動画をそのまま再生すると、暗くコントラストが低い画像に見えます。この場合は、ルックアップテーブル（LUT）を適用して再生すると、通常の表示に近い画像で確認することができます。

1 [LUT] チェックボックスをチェックする

- Canon Log ガンマを使って撮影した動画でない場合は、[LUT] チェックボックスにチェックすることはできません。

2 対象の動画を再生する

- 「クリップの再生」（p.6）の操作を行います。

→ LUT が適用された動画が再生されます。

- LUT チェックボックスのチェックマークの有無は、〈B〉キーを押して切り替えることもできます。
- Canon Log ガンマを使って撮影した動画は、撮影情報の［Canon Log］項目の値に［入］と表示されます。（p.11）

フルスクリーンで再生する

1 動画を再生する

- 「クリップの再生」（p.6）の操作を行います。

2 メイン画面でメニューの［表示］▶［フルスクリーン表示］を選ぶ

→ 再生中の動画がフルスクリーン表示されます。

- プレビュー画像をダブルクリックしても、フルスクリーン表示になります。
- フルスクリーン表示を解除するときは、〈Esc〉キーを押すか、プレビュー画像をダブルクリックします。

キーボード操作

キーボードで下記の操作ができます。

キー操作	操作内容
〈Space〉	再生 / 停止
〈←〉	コマ戻し
〈→〉	コマ送り
〈Home〉	先頭フレームに移動
〈End〉	最終フレームに移動
〈B〉	ルックアップテーブル（LUT）を有効 / 無効
〈L〉	再生
〈K〉	停止
〈S〉	再生速度を調整
〈V〉	表示モード（［100% 表示］／［画面に合わせる］）を切り替える

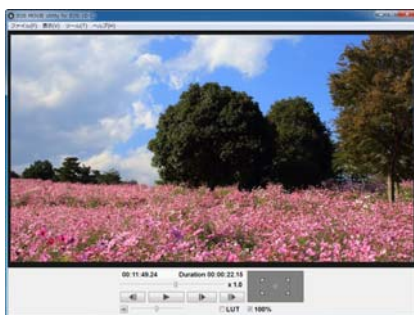
動画の表示サイズを切り替える

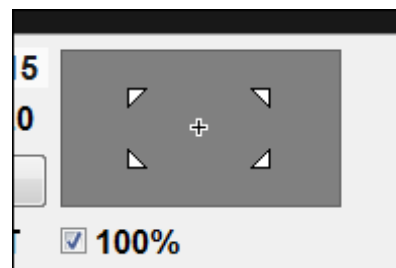
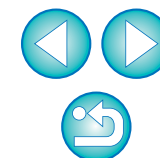
プレビューエリアに表示される動画に対して、**［画面に合わせる］**モードと、**［100% 表示］**モードのいずれかの表示方法を適用することができます。

メニューの［表示］▶［画面に合わせる］／［100% 表示］を選ぶ

➜ 選んだ表示方法で、プレビューエリアに画像が表示されます。

［画面に合わせる］モード

［100% 表示］モード

- **［画面に合わせる］**モードでは、プレビューエリアに画像が収まるように表示されます。
- **［100% 表示］**モードでは、プレビューエリアに 100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。
- 再生コントロールエリアの**［100%］**チェックボックスをチェックすると、**［100% 表示］**モードになります。**［100%］**チェックボックスのチェックを外すと、**［画面に合わせる］**モードになります。
- **［100% 表示］**モードで画像の表示位置を変えるときは、プレビューエリアの画像をドラッグします。

ガイドエリアの拡大表示位置

動画ファイルの情報を確認する

クリップの撮影情報を表示、確認することができます。

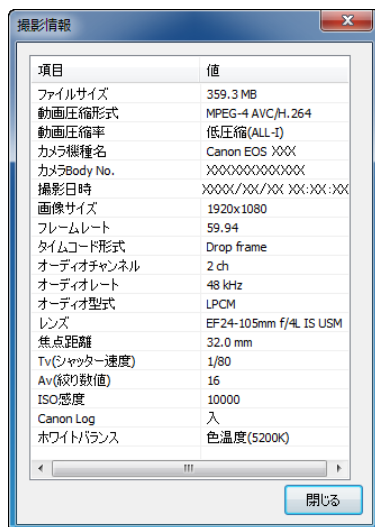
1 メイン画面でメニューの［表示］▶［クリップリスト］を選択する

➜［クリップリスト］画面が表示されます。

●当機能を使用するには、あらかじめ、確認する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」（p.6）の手順 1 ～ 2 を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2［クリップリスト］画面で撮影情報を表示したいクリップを選ぶ

3 メイン画面でメニューの［表示］▶［撮影情報］を選ぶ

➜撮影情報が［撮影情報］画面に表示されます。

静止画として保存する

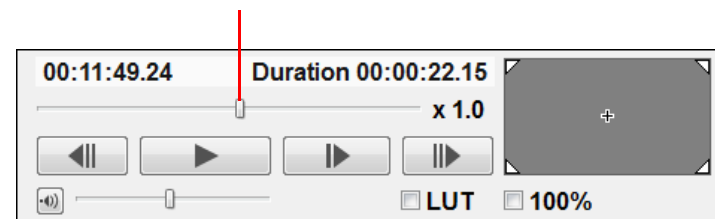
表示中のクリップの画像を静止画として保存することができます。

1 メイン画面でメニューの［表示］▶［クリップリスト］を選択する

➜［クリップリスト］画面が表示されます。

2［クリップリスト］画面でクリップを選ぶ

3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存したい画像を表示させる

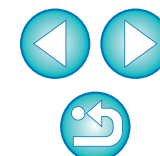
フレーム位置スライダー

4 メニューの［ファイル］▶［静止画として保存］を選ぶ

➜［名前を付けて保存］画面が表示されます。

●動画再生中は［静止画として保存］を選ぶことができません。動画再生を停止してください。

5 保存先を選び、ファイル名を入力して［保存］ボタンを押す

●Canon LOG ガンマを使って撮影した動画の場合、［LUT］チェックボックスをチェックすると、LUT が適用された状態で静止画を保存することができます。

●静止画は、TIFF 非圧縮 8-bit RGB 形式で保存されます。

動画ファイルを結合保存する

EOS-1D C で動画を撮影すると、1 回の撮影でも 4GB ごとに動画ファイルが分割されて保存されます。当機能では、分割された動画ファイルを結合保存することができます。

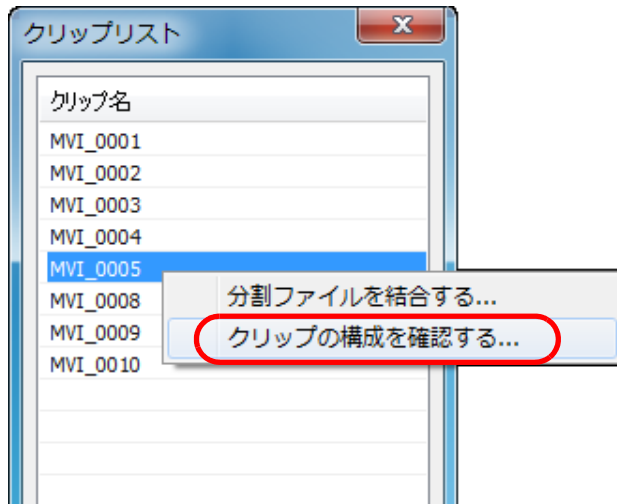
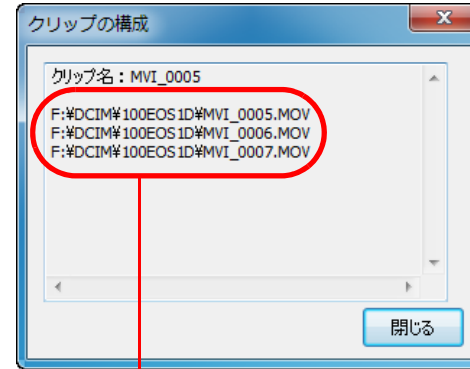
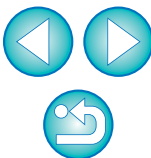
クリップを構成する動画ファイルを確認する

EMU では、分割された動画ファイルも 1 つのクリップとして表示されます。下記の操作で、分割された動画ファイルで構成されるクリップを調べることができます。

1 メイン画面でメニューの［表示］▶［クリップリスト］を選択する

→［クリップリスト］画面が表示されます。

● 当機能を使用するには、あらかじめ、確認するクリップが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」（p.6）の手順 1 ～ 2 を参照して、フォルダ選択を行ってください。

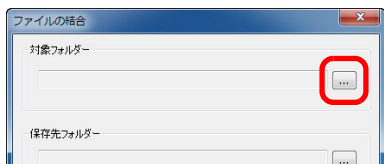
2 ［クリップリスト］画面で、構成を確認したいクリップを選択し、マウスを右クリックして、表示されるメニューから［クリップの構成を確認する］を選ぶ

→［クリップの構成］画面が表示されます。

クリップが分割された動画ファイルで構成される場合は、複数行で動画ファイル名が表示されます。

分割された動画ファイルを結合保存する

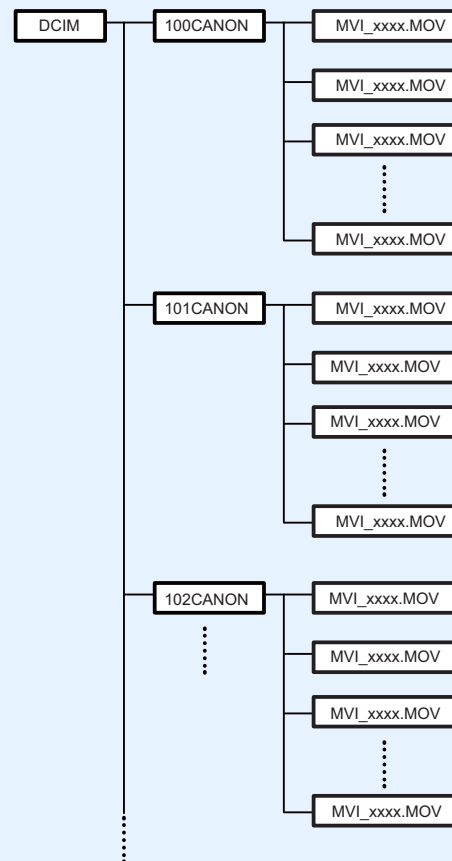
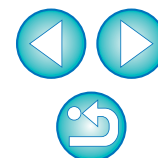
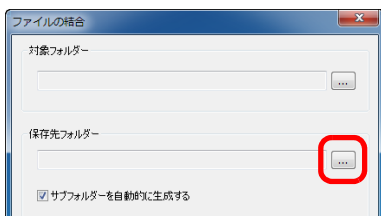
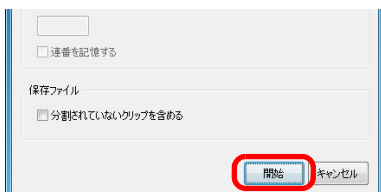
分割された動画ファイルで構成されているクリップは、下記の操作で動画ファイルの結合保存を行うことができます。なお、オリジナルの動画ファイルは元のフォルダにそのまま残ります。

フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する

1 **メイン画面でメニューの［ツール］▶［分割ファイルの結合］を選ぶ**

➜［ファイルの結合］画面が表示されます。

2 **［対象フォルダー］の［ … ］ボタンを押し、結合する動画ファイルが入っているフォルダを選ぶ**

● 選択したフォルダに保存されている、すべての動画ファイルが対象となります。

カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。

当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、分割された動画ファイルが、正しく結合できない場合があります。「フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する」場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIM フォルダを選択してください。なお、フォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が［DCIM］と異なる名称に変更されている場合は、正しく結合ができない場合がありますのでご注意ください。

3 ［保存先フォルダー］の［ … ］ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ

4 ［開始］ボタンを押す

→ 結合と保存が開始されます。

● 結合と保存が完了すると、メッセージが表示されます。

● ［サブフォルダーを自動的に生成する］チェックボックスをチェックすると、手順３で選んだ保存先フォルダにサブフォルダが生成され、結合した動画ファイルが保存されます。保存先フォルダに重複するファイル名のファイルがある場合にも、ファイル名を変更せずに保存することができます。

● ［ファイル名を変更する］チェックボックスをチェックすると、結合保存した動画のファイル名を変更できます。

● ファイル名に連番の番号を付けたい場合は、［連番］の欄に開始番号を入力します。開始番号は５ケタまでの数字を入力することができます。［連番を記憶する］チェックボックスをチェックすると、［ファイルの結合］画面を閉じた後、ふたたび、同画面を表示して動画ファイルの結合保存を行う場合にも、連番を続けて付けることができます。

● ［分割されていないクリップを含める］をチェックすると、手順２で選んだフォルダに保存されている動画ファイルのうち、分割されていない動画ファイルも合わせて保存先にコピーすることができます。

1 クリップのみの分割された動画ファイルを結合保存する

1 メイン画面でメニューの［表示］▶［クリップリスト］を選ぶ

→［クリップリスト］画面が表示されます。

● 当機能を使用するには、あらかじめ、結合する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」（p.6）の手順１～２を参照して、フォルダ選択を行ってください。

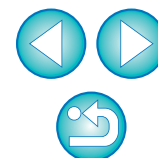
2 ［クリップリスト］画面で、結合保存したいクリップを選択し、マウスを右クリックして、表示されるメニューから［分割ファイルを結合する］を選ぶ

→［ファイルの結合］画面が表示されます。

3 ［保存先フォルダー］の［ … ］ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ

4 ［開始］ボタンを押す

→ 結合と保存が開始されます。

● 結合保存が完了すると、メッセージが表示されます。

EMU を終了する

メイン画面でメニューの［ファイル］▶［終了］を選ぶ

➜ EMU が終了します。

資　料

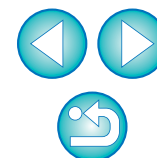
こんなときは

EMU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にしてください。

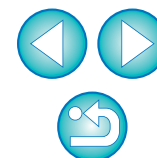
EMU が動かない

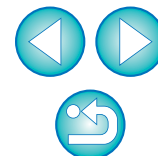
- EMU を複数起動することはできません。
- 動作環境と違ったパソコンでは EMU は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使用してください。（p.2）
- 動作環境（p.2）に記載された RAM（メモリー）容量をパソコンに搭載していても、EMU と共に他のソフトウェアを立ち上げていると、RAM（メモリー）が不足することがあります。EMU 以外のソフトウェアを終了してください。

文字やボタンが正しく表示されない

- 画面のフォントサイズを 100% (96dpi) 以外に設定すると、画面の文字やボタンが正しく表示されません。Window 7 のディスプレイの環境設定で、画面のフォントサイズを 100% に設定してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、下記の例を参考にしてください。

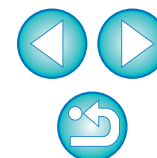
メッセージ	原因と対処
選択されたパスにはフォルダーを作成できません。	保存先に指定したメモリーカードは書き込み禁止になっています。書き込み可能なカードを入れてください。
連番を入力してください。	連番が入力されていません。動画ファイルを結合するクリップが複数ある場合、連番の開始番号を入力してください。
保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。	保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。保存先を変更してください。
ファイルに付加する連番が不足します。	ファイル名に付ける連番が 99999 を超えています。連番に入力する数値を変更するか、ファイルの保存先を変更してください。
他のユーザーがすでに起動しています。	EOS MOVIE Utility を起動中のユーザーアカウントで Windows にログインして EOS MOVIE Utility を終了してから、起動し直してください。
出力先のファイルシステムが 4 GB 以上のファイルに非対応の可能性があります。続けますか？	保存先フォルダがあるドライブには、結合した動画ファイルを保存できない可能性があります。保存先のドライブのファイルシステムが 4GB 以上のファイルをサポートしていることを確認してください。
空き容量が不足したため、結合できませんでした。	保存先フォルダがあるドライブの空き容量が不足しています。空き容量を確保するか、保存先を変更して、結合処理をやり直してください。
結合処理に失敗しました。	保存先フォルダがあるか確認をしてください。保存先フォルダが外部ストレージの場合は、パソコンに正しく接続されているか確認をしてください。

キーボードコントロール

キーの種類	フォーカスが当たっているメイン画面の操作部材		
	コマ送り／コマ戻しボタン 再生／停止ボタン ミュートボタン 再生速度調整ボタン [LUT] チェックボックス [100%] チェックボックス	音量スライダー	フレーム位置スライダー
Space	OS で設定された動作	無効	再生／停止
→		音量を上げる	コマ送り
←		音量を下げる	コマ戻し
Home	無効		先頭フレームに移動
End	無効		最終フレームに移動
B	ルックアップテーブル [LUT] を有効 / 無効		
L	再生		
K	停止		
S	再生速度を調整		
V	表示サイズの切り替え		
F	フルスクリーン表示		

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、管理者権限でログインしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。また、再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 **[ ] ボタン▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［EOS MOVIE Utility for EOS-1D C］▶［EOS MOVIE Utility for EOS-1D C アンインストール］を選ぶ**

2 **表示される画面内容にしたがって、削除を進める**

➜ソフトウェアが削除されます。

この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90006

受付時間：平日 9：00 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00
（土曜・日曜・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます）

CINEMA EOS SYSTEM サイトのご案内

キヤノン CINEMA EOS SYSTEM のホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/cinema-eos